一般質問

個人質問

川原　春夫　議員

通学路の放射線量の測定を

●通学路対策について

Q 児童が通学する経路において放射線の測定はどうなっていますか。また、放射線量のきめ細かな広報についてうかがいます。

A 市長　放射線量及びセシウムの沈着量も、当山武市におきましては、評価が一番低い地域に該当していますので通学路における現段階での積極的な測定は考えていません。

A 経済環境部長　広報紙を活用し、もう少しきめ細かな広報を考えてみます。

Q 測定器の新規購入計画はありますか。

A 経済環境部長　来年度の当初予算の中で予算要求をします。

●通学路の総合的点検について

Q 防災教育の一環として、地域の皆さんへの協力体制はマニュアル化されていますか。

A 教育部長　睦岡小学校は御存じのとおり、県の指定を受けて、地域との連携を深める防災教育公開授業を進めていますが、本年度の成果をもとに、来年度以降、市内の各校がこの取り組みを参考に、防災教育に取り組んでいけるよう教育委員会としても努めます。

森林の再生のために

●森林の再生対策について

Q 平成21年度からの3カ年の、国の「ふるさと雇用再生特別基金事業」を活用した、豊かな森林資源再生事業の現状についてうかがいます。

A 経済環境部長　バイオマス資源の利活用の先進的な研究調査や木材流通システム、森林整備に高い専門性を有する企業に委託し、日向の森の5ヘクタールや民間の方の土地を実証場所として、間伐等の整備や被害材等の調査を実施、森林資源のデータや地域特性に合った森林整備の実態、さらに森林整備及び発生材や、整備された森林によるビジネスモデルの構築の検討を行っています。

　平成24年度からは山林に残されたC材、D材の残材を搬出し、ストックヤードまで運搬してくる方に助成する制度を構築して、豊かな森林資源再生事業の後継事業としてとらえています。

Q 日向の森の再生対策についての取り組み、計画をお尋ねします。

A 経済環境部長　日向の森の5ヘクタール部分を経済環境部で借り受け、この3年間でさまざまな試験をしています。

A 総務部長　45ヘクタールの森を保全していくという観点から、森そのものが存在することにより、多面的な森林の機能、公益的機能、水源かん養、空気清浄、温暖化防止等、森林が存在するだけで、その価値があると認識しています。

　ただ、そのままでいいのかということになりますので、議員ご指摘のように、魅力のある森にしていかなければならない。森を維持管理するのに、NPO関係や千葉大、民間の方々からも話がありますので、市としても出来るだけの協力を考えています。

日向の森

Q 日向の森を教育の森と位置づけて荒れ放題になっている森を再生する。ビオトープだとか、大人が手を加えれば再生できるという場所があります。検討していただきたいと思いますがいかがでしょうか。

A 教育長　森林を教材とする学びは、多く学ぶものがあり、大事なことと捉えている。「荒れている」「遠い」などの条件の中、活用しやすいところで学習するのが現状だが、議員の思いは十分受けとめています。しっかり取り組んでいきたい。

人事評価で職員の能力とやる気を高める

●人事評価制度について

Q 平成20年度に予算を計上し、制度の構築を開始して4年が過ぎます。制度の構築等支援委託料もかなりの額になっています。第一に導入する目的。第二に評価する側と評価される側との信頼関係の構築。第三に本格運用の開始時期についてお尋ねします。

A 総務部長　目的は職員が職務を通じて発揮した能力、上げた業績を的確に把握・評価し、職員の人材育成、適材適所への任用、適切な給与・処遇の実現に活用し、その中で職員の能力とやる気を最大限に引き出し市民サービスの向上につなげようということです。

　評価する側と評価される側の信頼関係構築の上から評価者が適切な評価ができるように、管理職のスキルアップや公正な